



2015年11月19日 第2214回例会
11月第3例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「ロータリー財団月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



このたび、国際ロータリー第2710地区2016-17年度地区補助金ロータリー奨学生として当クラブが推薦していました三澤志織さんが、書類審査並びに面接審査を経て候補

者として第2710地区よりロータリー財団へ推薦されることが内定いたしました。まずもってご報告申し上げます。

本日は、ロータリー青少年交換で1年間留学されました原正宏さんと楠木亜朱利さんが例会出席されていますので、ロータリー青少年交換についてお話ししたいと思います。

青少年交換は、年齢15～19歳の青少年の国際理解と親善を目的とした交換留学制度で、国際ロータリーの常設プログラムの一つです。この青少年交換には、数週間程度の短期交換と1年間を過ぎず長期交換の2種類があります。

青少年交換は、1920年代、ヨーロッパの少数クラブの間で始まりました。その後1972年に至り、国際ロータリー理事会は価値ある国際的な活動として世界中のクラブにこれを推奨することに同意し、1974年に正式に始まりました。

日本における青少年交換の歴史は、久留米ロータリークラブが、1962年に、当時久留米信愛女子高等学校の一年生（16歳）であった宮崎洋子さん（現在関本洋子さん）を、オーストラリアのローズバッドロータリークラブに派遣したことに始

まります。当時のオーストラリアには、第2次世界大戦で日本と戦った経験を持つ人も多く、日本の高校生を受け入れることは容易ではなかったようです。

このプログラムの実現には、ラバウルでの日本との戦いで失明したドン・ファーカーク氏という一人のオーストラリアのロータリアンの支援がありました。彼は盲目でありながら、1961年に東京で開催されたRI第52回東京国際大会に出席し、その講演で、平和と親善を推進しようという使命感のもと、世界中、特に日本と友情を築くこと、文化の相互理解を行うことの必要性を説きました。彼はそのためには、日豪の青少年交換が最適だと考え、その後の尽力により宮崎洋子さんの派遣が実現したとのことでした。

● 会務報告 ● 梶本幹事

※広島RC事務局員の退職に伴う後任の紹介

山田 華世（ヤマダ カヨ）さん

※本日は100万ドルの食事例会です。

※2016年5月28日からソウルで行われるロータリー国際大会の早期登録割引きが12月15日までとなっておりますので、ご興味のある方は、事務局までお問い合わせください。

①2015年12月15日まで \$310

②2015年12月16日～2016年3月31日 \$375

③2016年4月1日以降 \$440

※例会終了後、4階「カメラ」において第4回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会メンバー及び各委員長は出席願います。

● 委員会報告

✪ プログラム・出席委員会

出席報告 小田委員長

本日（11月19日・木曜日）

会員数	82名	出席者	70名
欠席者	12名	ご来客	2名
ご来賓	0名	ゲスト	2名
		計	74名

前々回（11月5日・木曜日）

出席率 100%



✪ 会報雑誌・広報委員会

米山委員

ロータリーの友誌紹介

✪ 地域・環境委員会

井下委員長

樽鉢寄贈の報告を申し上げます。

先週11月12日(木)、金本会長以下13名の会員さんに参加していただき、佐伯区スポーツセンターの敷地に樽鉢10鉢を寄贈いたしました。

当クラブのほかに、佐伯区長及び区役所職員・広島工業大学学長・佐伯区スポーツセンター館長・佐伯区まちづくり百人委員会花部会「はなみどり」有志、五日市観音中学校生徒さんらが参加し、晴天の中で贈呈セレモニーが行なわれ、「はなみどり」石田会長様から当クラブへ感謝状が贈呈されました。

引き続き、サザンカ・ヒューケラ・パンジーなどを樽鉢10鉢に植樹しましたが、ご年配の方や女性の参加が多い中、会員さんには100キロを越えると思われる樽鉢を持ち上げて運搬するなど、危険が伴う作業を担っていただきまして



大変ありがとうございました。担当委員会として厚く感謝申し上げます。

✪ 青少年・インターアクト委員会

新本委員長

去る11月14日と15日に1泊2日の日程で萩RCのホストにより開催されたRYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）に当クラブより推薦のあった、松村匡君（22才）を研修生として伴い出席して参りました。「至誠～原点に立ち戻りリーダーシップを学ぼう～」をテーマに開催されましたが、初日は松陰神社宮司・上田俊成氏と萩博物館特別学芸員・一坂太郎氏の基調講演を聞き、松陰神社や松下村塾そして吉田松陰ゆかりのものが展示してある「至誠館」などを見学後、研修生は、グループに分かれて「リーダーシップ」についてディスカッションを行い発表資料を作成。翌日は、ロータリアンの前でグループごとに発表を行い、最後に上田宮司から講評を頂くという内容でした。研修生にとりましては、萩が生んだ偉大なる思想家・吉田松陰の生き様・考え方に触れながら、研修生同士が切磋琢磨し、志を強める良い機会になったのではないかと思います。研修生の松村匡君に後で聞くと、発表資料と発表内容を整えるためになんと、午前2時まで同じ班の人と起きていたとのこと。ほとんどの人が、深夜遅くまでまじめに取り組んでいたそうです。ただ、発表の場でリーダーシップを強く発揮しているように強く感じたのは、全研修生のうち17名参加のあったローターアクターの人たちであったように思います。当クラブにはローターアクトクラブはありませんが、同世代の彼らと接することにも大きな意義があると感じました。来年度も継続して当クラブから青少年研修生を送り出すべきだと思います。

● 会員記念日

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(13名)

井原君	齊藤君	藤田君	山木君
園尾君	荒川君	蓼原君	片山(常)君
原君	三浦君	中村君	浜田君
南條君			

祝 連続出席100% (3名)

古屋君 (22年) 金本君 (20年)
渋谷君 (10年)

連続出席20年 金本 善行 君に記念品贈呈



連続出席10年 渋谷 勝治 君に記念品贈呈



● スマイルボックス SAA 大植委員長

😊 佐久間君 (自主申告・大枚)

戸田建設広島支店は、本年11月で開設70周年を迎えました。私は34年間、広島支店に在籍しています。

今年3月からは広島支店長として、「原点復帰と新たな挑戦！」をスローガンに掲げています。建設会社としての原点に戻り、お客さまに感動を提供し、社会の喜びづくりに努める「喜業人」となることを目指し、価値ある広島支店を実現したいと思います。

■ 卓 話



2014-15 年度
青少年交換派遣学生
留 学 報 告

原 正 宥 君

私はロサンゼルス市の北西部に位置する、自然豊かなムーアパークという街で留学生活を送りました。

留学前はリスニングに自信を持っていたのですが、その自信はアメリカに渡ってすぐ完膚なきまでに叩きのめされてしまいました。また、学校ではEnglish、数学、アメリカンヒストリー、アート、陶芸などの授業を選択しましたが、しばしばプレゼンやディスカッションなどがあり、そういう授業形態に慣れていないため大変苦労しました。クラブは野球部に所属しました。日本で5年間野球をやっていたので友達を作るのにもちょうど良いと思い入部しましたが、入部間もないころは、「こいつ誰だ？」と言わんばかりの目で見られるし、コーチの指示も全くわからない、次に何をしたらいいかもわからず戸惑うことが多かったです。しかし厳しい活動を1年間やりきることができたのはとても良い経験で、ムーアパークの野球部だけでなく、他校の人たちとも親交が深まりました。野球部の仲間たちとは今も連絡を取り合っています。

次にホストファミリーの紹介に移りたいと思います。

アメリカでの最初の5ヶ月間お世話してくれたのは、皆さんご存じのジョーイー君のご家族です。僕のことを暖かく迎え入れてくれ、まるで新しい家族ができたかのような時間を過ごすことができました。

ご主人は日曜大工が趣味で、週末に棚や、椅子などを一緒に作ったのがいい思い出です。またドジャースの試合や、バスケットボール、アイスホッケーの試合など色々な所に連れて行ってもらいました。

2番目のホストファミリーは、ウォルシュ一家です。僕が2軒目のホストファミリーが見つからなくて困っていた時に、同じ野球部に所属していたコルビー・ウォルシュ君が名乗り出てくれました。ウォルシュ家は「典型的なアメリカ人」といった感じで、明るく、活発な家族でした。郊外に農場を持っていてそこで馬や豚の世話をしたのが懐かしく思い出されます。私が日本に帰る時、親族全員が集まってお別れ会を開いてくれました。また日本に興味を持ってくれ、来年の夏、家族全員で、日本に旅行に来ることが決まったそうです。その時はしっかりと日本を案内しようと思います。

今回の留学の締めくくりとして6月の中旬から1ヵ月間、南カリフォルニアロータリークラブが

主催する、アムトラックツアーに参加しました。その1カ月の旅で、アメリカの大きさ、素晴らしさだけでなく、価値観や、考え方は各国々で違うものなのだという事を学ぶことができました。

これからも世界中の友達とコミュニケーションをとり続けていきたいと思っています。

この留学を経験して、語学だけでなく、価値観や、考え方も変わりました。また将来のビジョンもしっかりとしてきましたし、家族の大切さや、私がどれだけ恵まれた環境にいるかを知ることができました。

今回、留学を支援して下さった2710地区のロータリアンの皆さん、広島西ロータリークラブの皆さん、特にカウンセラーの香川(基)さんには、このような機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。





楠木 亜朱利 さん

皆さんこんにちは。メキシコに派遣させていただいた楠木亜朱利です。ベラクルス州というところで一年間住む体

験ができましたが、その生活についてのプレゼンテーションをしたいと思います。

まずはベラクルスをちょっと紹介したいと思います。

Veracruz de Ignacio de la Llave が正式名称で Veracruz を直訳すると真の十字架という意味です。そしてこの Ignacio de la Llave は1861年と1862年で知事だった Ignacio de la Llave y Segura Zevallos に敬意を表しています。東海岸の方に位置していて、人口は7,773,408人です。

昔から大事な港なので色々な民族や文化があります。(先住民-ナワ系、マヤ系、ヨーロッパ系、アフリカ系)それは食べ物や文化に大きく影響されてます。気候は一年中蒸し暑いです。主な経済は農業と石油の生産です。ベラクルスはメキシコ、コーヒー豆、サトウキビ、トウモロコシ、米の生産をしています。国内最大マンゴーの生産の場所でもあります。

ベラクルスは資源豊富でメキシコの水供給の約35%は、ベラクルスから出てます。金属と非金属鉱物採掘もたくさん行われています。しかし最も主要な資源は石油でメキシコの4分の1の石油埋蔵量がベラクルスにあります。そして石油の生産では国内3位でもあります。

私は Boca Del Rio 市に住んでいましたが、ボカ・デル・リオはベラクルスの中央に位置していて、人口は138,058人です。

それでは今から写真の紹介をしたいと思います。

ロータリーの方々のおかげで留学という貴重な体験ができて感謝の気持ちでいっぱいです。そしてメキシコで学んできたことを日本で活かせるように頑張りたいと思います。

● 卓話予告

日時	テーマ
12/3(木)	「外科的治療と術後管理と予防について」 福田 康彦 君

広島西RC **検索** 

例会日・木曜日 12:30~13:30
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
 会長 金本 善行
 幹事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
 リーガロイヤルホテル広島13F
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
 作成・会報雑誌・広報委員会